

## Si-R G211 V20.04 変更内容一覧

### □機能追加・改善

No.	項目	内容
1	WPAD対応	DHCPサーバ機能、proxyDNS機能によりPACファイル配信サーバを端末に自動登録可能とする。
2	透過モード起動時間短縮	透過モード設定時の装置起動時間短縮
3	G211のLTEモジュールファームアップ対応	G211に内蔵されたLTEモジュールをファームアップグレード可能とする。
4	内蔵LTEの受信電波レベル履歴情報最大保持件数拡大	内蔵LTEの受信電波レベル履歴情報最大保持件数を拡張する。(1200件⇒2000件)
5	FAN回転制御対応	設置環境の温度変化によるFAN制御(停止/低速/中速/高速自動切換)を行う。
6	VPN	VPN処理の改善を行いました。
7	csg agetimeコマンド対応	CSGのDNS順引き動的経路の保持時間の設定コマンドを変更 旧:csg agenttimeコマンド
8	LTE WiFi USB dongle (Si-L10)の最大パケット長拡大	LTE WiFi USB dongle (Si-L10)の通信パケットの最大パケット長を拡張する。1464byte⇒1472byte

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.00～V20.03	show devscanコマンドにて機器識別用ユーザ辞書に定義した文字列の表示が文字化けする場合がある。
2	V20.00～V20.03	運用中にresetコマンドを投入すると装置内にコアファイルが生成されることがある。
3	V20.00～V20.03	ハードウェア異常(内部ポート故障)が検出されない場合がある。
4	V20.00～V20.03	以下のSi-R G211内蔵通信モジュール設定コマンドについてコマンドパラメタを小文字/大文字の両方で指定できるようにする。(PAP/CHAP、IPv4/IPv6など) sim apn auth コマンド sim apn protocol コマンド
5	V20.00～V20.03	内蔵通信モジュールにて運用中に、sim設定を削除して動的定義反映を行った後にランプを電波状態表示モードにすると、切断状態ではなく電波状態を示すランプ表示となる。
6	V20.00～V20.03	LTEバンド設定でLTEで使用できないバンドを設定し、接続をLTE接続のみに設定したにもかかわらず、内蔵LTEが3Gで接続される。
7	V20.00～V20.03	pseudo-ether connection type コマンドヘルプのマニュアル未記載パラメタ(none)を削除する。
8	V20.00～V20.03	pseudo-ether connection type 設定の変更を実施すると、coreファイルが出力される場合がある。
9	V20.00～V20.03	内蔵モジュールのusbctl / offline / onlineの繰り返し実行すると装置がシステムダウン後再起動することがある。
10	V20.00～V20.03	経路切替とSIM切替を繰り返していると通信が行えなくなることがある。

11	V20.00～V20.03	ランプやWeb画面での内蔵モジュールの電波状態表示の状態が、show trace signalのRSS値と一致していない。
12	V20.00～V20.03	SIM抜去後もshow pseudo etherで抜去したSIMの情報が表示される
13	V20.00～V20.03	vlan forwardに指定できないwanポートが設定できる。
14	V20.00～V20.03	データコネクタ機能でアドレス変更時再REGISTしないことがある
15	V20.00～V20.03	vlan透過モードで、group2側でmirror設定を行うとMACアドレスが学習テーブルへ静的に登録されない。このため、ethergroup2のポートから自装置宛ての通信が来た場合、ethergroup2の各ポートへfloodingされてしまう。
16	V20.00～V20.03	トラフィックセクタ設定を有効化し、拡張IPsec対象範囲設定を行うと、IKEネゴシエーションが行われない。FENICSビジネスVPNアドバンスサービス利用時にも本件事象が発生する。
17	V20.00～V20.03	vrrp構成定義をコピー＆ペーストすると、装置が無応答となり再起動することがある。
18	V20.01～V20.03	トラフィック可視化統計情報で表示される値が異常となる場合がある
19	V20.00～V20.03	装置起動後、24時間毎にパケット送受信が遅延、または破棄される場合がある。
20	V20.00～V20.03	offline wwan signal後にonline wwan signalを行うと、内蔵モジュールの接続がリンクアップしない場合がある。
21	V20.00～V20.03	内蔵モジュールで通信中、電波表示モードにしてもLEDの表示状態が”信号なし”状態(点灯しない)となる。
22	V20.00～V20.03	装置再起動時にエラーログ(error code [c8002007])がロギングされることがある
23	V20.03	構成定義設定によって、PACファイルへのアクセスが行えない場合がある。
24	V20.01～V20.03	Nxconciergeサービス利用時、メモリ資源が消費され、装置が無応答となり再起動することがある。
25	V20.03	DNS問合せによる経路登録が有効な場合に、メモリ資源が消費され、装置無応答または装置が再起動することがある。